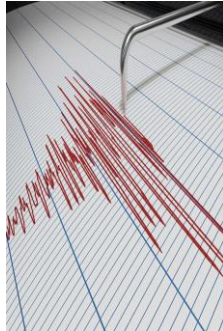




## 地震大国の日本、電車乗車中に大地震に遭遇する可能性も

近い将来の発生が確実視されている首都直下型地震や南海トラフ地震。発災時に電車に立って乗車していた場合、あなたは咄嗟にどう行動しますか？

日本の鉄道は地震でも比較的安全です。沿岸、沿線、内陸部に地震計が設置されていて、**震度4以上の地震を検知すると全列車に一旦停止**の指令が出ます。



### 一旦停止の方法（震度によって異なる）

<b>震度4</b>	時速55キロ以下	次駅または先攻列車の停止位置で停車安全確認ができれば運転再開
<b>震度5弱</b>	時速25キロ以下	同上
<b>震度5強以上</b>	係員が点検をし、安全が確認できるまで運転を中止	

停止する際は電気を遮断して強制的に停車します。状況によりますが、急ブレーキを伴う場合もあるので注意しましょう。地震を検知すると「緊急停車します」と車内アナウンスが流れ、約3秒で緊急停止に移ります。緊急なのでどうすればよいかわからないかもしれませんが、アナウンスを聞いた瞬間にどのように行動すればよいか知っておきましょう。

## 電車が緊急停止したときの対応

座席に座っている場合は身体を小さくして持っているバッグで、ない場合は手であみ棚からの落下物からしっかり頭を守りましょう。立っている時はつり革や手すりをしっかり両手で掴み、ブレーキの勢いで倒れないようにグッと握って耐えましょう。この場合、進行方向の横に向くと受ける抵抗は少なくなります。

## ～災害が発生した瞬間のひとりひとりの判断と行動が生死を分ける～

### ○ 両手でつり革をしっかりと握って踏ん張る

大地震の時は激しい揺れで飛ばされてしまう可能性が高いので、つり革を両手でしっかりと掴み、さらに両足でしっかりと踏ん張って自身が飛ばされないことが重要です。

### △ 片手でつり革をしっかりと握り、もう片方の手で頭部を保護する

片手では致命傷となる頭部の保護は十分ではなく、また、踏ん張り切れずに自身が飛ばされてしまう可能性があります。

### ✕ その場にしゃがみ込んで頭部を保護する

特に混んでいる場合にしゃがみ込むと、他人の下敷きになり骨折や内臓破裂などの重傷を負う可能性が高いばかりか、最悪の場合には他人の下敷きになり圧死することもあります。

混雑の中で下敷きになることの危険性は、2001年7月に発生した明石花火大会歩道橋事故や、最近では、昨年韓国でハロウィンの際に発生した群衆雪崩事故でも明らかなおりです。

# 地震が起きた時、電車内の危険な場所とは

多くの死傷者を出した福知山の脱線・衝突事故では

2005年に発生したJR福知山線脱線事故では、乗車した車両や乗車位置が生死の分かれ目となった、との分析もされています。

## 電車で被害を少なくするには？

電車で一番怖い被害のケースは脱線や横転です。脱線では衝撃を直接受け、横転にいたっては人が降ってくる状況にもなるかもしれません。それを防ぐ一番の方法は“**先頭車両付近に乗車しない**”ことです。**今まで脱線事故で被害を受けたのは概ね先頭車両と次車両の2車両**と言われています。日本の鉄道は地震対策が非常に進んでおり、ショックを吸収するサスペンション、脱線しないような装置など、相当大規模な地震がない限り、脱線・横転は気にしなくてよいレベルですが、万が一のために日頃から“**3両目以降、できれば後方車両に乗ること**”をクセ付けておけば一番の対策となります。

また、地下鉄の場合も基本的には電車と同じで、地震検知システムもあります。しかし、地上と違う点は“地下の密閉空間に閉じ込められる”というところです。これにより精神的不安が募るでしょう。ですが、地上と同じように非常用電源もあり、真っ暗闇で閉じ込められることはありません。揺れが収まれば運転が再開され、最寄り駅でドアも開放されます。

### 絶対に外には出ないように！

線路やトンネル内は高圧電線が走っているため、非常用コックなどを使って外に出ることは絶対にしてはいけません。地震検知システムが作動し、通電をストップしていても電気は残っている可能性があり、かなり強い電気で感電する危険性があります。

電車内は外に比べて比較的安全です。揺れが収まり、移動できる状態になると電車も動き始めます。“外よりは安全！”と考えて焦らないようにじっくり我慢しましょう。

### ▶ 最も危険な車両は？

衝突事故では主に先頭車両が圧縮されるため最も危険。

### ▶ 車両内で安全な乗車位置は？

ドア付近はすぐに自身の体を固定することができ、また車両内の人の圧力を受けにくいので安全度が高い。

### ▶ 電車で事故に遭遇した場合のNGな行動

非常用コックを使ったり、窓を開けたりして電車内から外に出ることは厳禁。線路脇には高圧電線が設置されてることもあり、感電死する可能性がある。なお、状況が許せば、非常口に近い先頭車両または最後尾車両へ移動すると良い。

- ✓ 電車・地下鉄・新幹線は地震が起きると地震検知システムで緊急停止する。
- ✓ 緊急停止の際、座っていたら身体を小さくして頭・首を守る。立っていたら、つり革・手すりを両手でしっかり掴んで倒れないように踏ん張る。
- ✓ よほどの緊急時以外、絶対に勝手に車外に出ない。
- ✓ 万全を期して、普段から後方車両に乗るクセ付けをする。

まずは落ち着いて、乗務員の指示に従いましょう。



### 天災は忘れた頃にやってきます。

「全く想定していなかった…」 「まさか、こんなことになるなんて…」  
ということがないように日頃から対策をしておきましょう！

弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”  
<https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。